

ボランティアの立ち上げ

2年前に佐賀県伊万里市の図書館を訪れた西野勝さん。市民を一番に考えた図書館の活動にとっても感銘を受けたそうです。「名前が『伊万里市民図書館』だったことに感動したんです」市立ではなく、市民図書館。町民のための図書館づくりを、大津町でも進めたい。そのためにボランティア組織を結成しようと決意しました。

町民の図書館ということはどのような意味なのか。そしてどのように進めれば良いのだろうか。たどりついた結論は自分たちがスキルアップして多くの人間と活動することでした。ボランティア立ち上げを目指し、半年間図書館について勉強を重ね、「おおづ図書館友の会」は結成しました。

みんなの図書館へー

以来、西野さんは会長として活動が続けますが「会員の一人ひとりが会の代表になって欲しい」と願っています。

現在は、主に図書館の本の補修、書架の整理などを行い図書館運営に参加しています。最初は9人だったメンバーも、今は36人の大所帯。「わたしたちのー、みんなの図書館だね」と皆が思ってもらえるような図書館にしたいと話します。



図書館のために 町民が集まった おおづ図書館友の会

おおづ図書館友の会の皆さん。
右から2番目が西野さん。

「町の文化度は、図書館を見れば分かります」と西野さん。図書館を良くすることで町全体を良くしたいという思いが伝わってきます。図書館や本を媒体に人と人がつながることを願う西野さん。「おおづ図書館友の会」の活動は、さらにこれから活発になっていくことでしょう。

町民でつくる町民のための図書館

人生での本と初めてのご対面ー

大津町ブックスタート

ブックスタートは、6～7カ月検診時に、一人ひとりの赤ちゃんに絵本を手渡し運動です。赤ちゃんと保護者が暖かなぬくもりの中で優しく語り合う時間が持てたら、その時間は赤ちゃんにとっても心休まるすばらしい時間となるでしょう。そんな時間を絵本を介して体験してほしい。そんな願いを込めて大津町のブックスタートは行われています。



人から人へ 本が旅をしますー

本の駅

図書館展示コーナー手前にある「本の駅」。ここには皆さんが感動した本がコメントと一緒にあります。立ち止まって、気になって、読みたいと思ったらどうぞお持ち帰りください。きっと素敵な感動があなたを待っています。また「みんなにこの感動をぜひ！」と思う人。どうぞ本を「本の駅」に持ってきてください。

年に一度のおはなしの日！ 「おはなしフェスタ」開催

おはなしの他にも図書館で不要になったリサイクル本の展示や手遊びのコーナーもあります。読書の秋に子どもや友だちと本の世界にどっぷりつかってみませんか？

日時 10月24日（日）午後0時30分～午後4時
場所 おおづ図書館
主催 大津町本とお話の会
内容 リサイクル本頒布（午後0時30分から）展示
手遊びや折り紙コーナー
おはなし会（午後1時、2時、3時からの3回）

図書館 インフォメーション

ずっと本のある 生活をー。

この町には図書館があります。図書館にはたくさん本が置いてあります。人が本を読み、知識を得て成長していくことと同じように、この町は、すばらしい人を得て成長していきます。ボランティアの皆さんの活動がそれを証明しています。

ずっと本のある生活をー。
ブックスタートから始まるこの生活。おおづ図書館はそのためのお手伝いを続けていきます。